



Grow Up

第16号 11月28日発行

■ 11月26日(月) 小中合同防災訓練



光消防署より、2名の方が講師として指導に来てくださいました。現場で働いている人の話を聞くことは大変勉強になったと思います。

- 火災での死者数 1,452人
ケガ 6,052人
- 住宅火災 889人 (65歳以上 692人)
原因 ・タバコ ・放火 ・コンロの火 (1年間)
- 光市 13件
既に光市でも、火災が発生しています。(平成30年度)

もう一度皆さんに聞きます。「おはしも」の意味は何だったでしょうか。“お”さない。“は”しらない。“し”ゃべらない。“も”どらない。です。自然災害は、学校、家、出掛けしているところなど、いつ、どこで起こるかわかりません。また、どんな状況においてもパニックにならずに、冷静に行動することが大切です。校長先生のお話にもあったように、避難訓練は3つの事を確認できます。□に入る言葉が思

①

②

③

※ 答えは、文中に！正解したあなたはすごい！

い出せますか？この話を聞いて、消火器はどこにあるかという質問があった時に正直ドキッとした人もいます。もし、火災が起こった時、どう動けばよいのか、必要なものはどこにあるのか、きちんと対応できるのか。ここから、①人 ②もの ③しくみの3つのことを確認することができます。避難訓練を

通して、防災意識が高まったと思います。これからの未来を生きていくためにも、自分の命を守ることができ、他の命を守ることができる、そんな附中生であってほしいと思います。

消火器の使い方



- 1 黄色の安全ピンを引き抜く。
- 2 ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向ける。
- 3 レバーを強く握って放射する。
- 4 火の根元をわらい、手前からほうきで5m程度離れた所
風上から掃くように薬剤を放射する。



※ いつも大人がいる状況だとは限りませんが、AEDの講習でも学びましたが、自分ができる最大限の勇氣をもってください！

2年生の教室から一番近い消火器の場所

